



地域ささえあい助成

— 生協と他団体が協同する活動を応援します —

2021年度 募集のお知らせ

CO・OP共済は、「自分の掛金が誰かの役に立つ」という組合員どうしの助け合いの制度です。コープ共済連はCO・OP共済を通じて豊かな社会づくりをめざしています。その活動の一環として、生協と地域のNPOやその他の団体が協同して地域の暮らしを向上させる活動を支援します。全国の生協、NPO、その他の団体の皆さまからの多数のご応募をお待ちしています。

応募期間

2021年1月7日(木)
～1月29日(金)
(当日消印有効)

応募条件

活動テーマ

以下①～③の対象となる活動のテーマいずれかに該当すること

必須条件

生活協同組合とNPO・ボランティア団体等が協同した取り組みであること

対象となる活動のテーマ

①「暮らしを守り、暮らしの困りごとの解決に資する」

例 地域住民による高齢者等への生活支援のコーディネート、障がい者の就労支援、震災による避難者へのカウンセリングの取り組みなど

②「命を守り、その人らしい生き方ができるようにする」

例 病気やケガで治療中の方やそのご家族への治療に専念できる環境の提供や、治療中における精神面でのサポートを通して生活の質の向上を目指す取り組み、病気の予防や早期発見を目的とする啓蒙活動など

③「女性と子どもが生き生きする」

例 子育てひろばの開設・運営、出産後の再就職や社会復帰を支援する取り組み、DV被害者からの相談を受け付ける活動など

対象となる活動期間

2021年4月1日～2022年3月31日の間に実施する活動が対象です。

必須条件～生協と他団体の協同～

次の①、②いずれかを必須とします。

- ①生活協同組合以外の団体(NPO法人等)が応募する場合には、活動内容が「生活協同組合と協同して行うもの」である
- ②生活協同組合が応募する場合には、活動内容が「生活協同組合以外の団体と協同して行うもの」である

- 日本国内を主たる活動の場とする生活協同組合、NPO法人、任意団体、市民団体を対象とします。
- 今後設立予定の団体でも構いません。
- 「協同して行う」とは、受注委託の関係ではなく、対等平等で企画を一緒に作り、ともに活動する関係をいいます。

〈対象とならない活動〉—以下、例—

- 左記の①～③のいずれのテーマにも合致しない活動(環境問題等)
- 生活協同組合同士の活動(100%子会社・生協から派生した団体も含む)
- 生活協同組合単独もしくはNPO法人等の団体単独の活動
- 生活協同組合が、対象となる活動期間中に「CO・OP共済健康づくり支援企画」より助成を受ける活動(応募を予定している場合や、審査中の場合も含みます)
- 生協の役割が、主に会議室等の場所や食料の提供のみの関係である場合
- 単発のイベントのみでの協同で、イベント終了後の協同の深まりが見受けられない場合
- 生協が他団体の主催するイベントにブース出展するのみで、全体の企画への関与が乏しい場合

助成内容

助成額は、1事業あたり100万円を上限としますが、審査委員会が認めた活動に限り、それ以上の助成額になることがあります。

審査委員会の判断により、一部減額での助成となる場合もあります。

助成総額は最大2,500万円を予定しています。

●助成の対象となる費用●

- 活動に直接関わる経費(資材費、消耗品購入費、旅費、交通費、印刷製本費など)
- 講師謝礼、指導料など

●助成の対象にならないもの●

- 飲食費、接待費、保険料、人件費(応募団体および協同する団体の職員に対する講師謝礼・指導料等の謝礼金を含みます)
- 助成を受ける事業以外の運営に係る費用
- 営利を目的とする事業
- その他、審査委員会が不適切と判断したもの

活動報告

助成を受ける団体には、所定の報告書をご提出いただきます。その他に、活動の様子について訪問や取材をさせていただく場合、コープ共済連の主催する交流会等での報告をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いいたします。

活動報告は、コープ共済連のホームページや冊子等に掲載し、ご紹介させていただきます。

応募方法、提出書類

①応募要項、応募用紙の入手方法

コープ共済連のホームページよりダウンロードいただくか、下記「お問い合わせ先」までメールかお電話にてご請求ください。

URL <http://coopkyosai.coop/about/csr/socialwelfare/2021.html>

※ご請求の際には、団体名、郵便番号、住所、送り主の方の氏名、電話番号を明記してください。

②応募方法

応募にあたっては、応募要項をよくお読みいただき、以下の書類を事務局宛にご送付ください(メール、郵送のみ可)。応募団体への事務局からの書類受領通知メールをもって、受付完了とします。2021年2月15日頃までに受領通知が届かない場合、受付ができていない可能性がありますので事務局までお問い合わせください。

※FAX、持参による提出は受け付けておりません。

- 応募用紙
- 定款(定款は応募団体がコープ共済連の会員生協である場合、ご提出は不要です。ご不明な場合はご相談ください)
- 見積書など(申請する費用の根拠となる資料)

お問い合わせ先

日本コープ共済生活協同組合連合会

組合員参加推進部

地域ささえあい助成事務局宛

TEL 03-6836-1324 (平日10:00～16:00)

メール contribution@coopkyosai.coop

応募書類提出先

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-1-13

コープ共済連 組合員参加推進部

地域ささえあい助成事務局宛

過去の助成団体活動内容はホームページでご案内しています。

コープ ささえあい 報告集 検索

URL <http://coopkyosai.coop/about/csr/socialwelfare/report.html>

「協同」についてご不明な場合は、日本生協連 地域・コミュニティ担当(03-5778-8135)までご相談ください。

※協同する生協をお探しの場合、生協との調整に時間がかかる場合や、地域の事情により生協をご紹介できない場合もございます。





生協とのコラボ を応援します!



生協とのコラボには、どんなものがあるの?

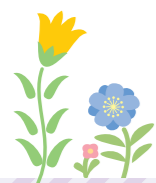
これまでに助成を受けた活動には、以下のような事例がありました。
生協とコラボレーションした活動をされている団体は、ぜひ「CO・OP共済 地域ささえあい助成」へご応募ください。

テーマ

1 暮らしを守り、暮らしの困りごとの解決に役立つ

- 団体名：社会福祉法人 いぶき福祉会
- 協同した団体：生活協同組合コープぎふ
- 活動名：新しい協働ステーションにおけるコミュニティガーデンづくり

社会福祉法人いぶき福祉会は、障害のある人の就労支援・日中活動支援や生活支援を中心とした事業を行っています。今回の活動では、いぶき福祉会事業所の敷地に、組合員、施設利用者、近隣小学校、地域住民などと一緒に、花壇をつくり世話をする取り組み(コミュニティガーデンづくり)を行いました。コミュニティガーデンづくりの専門家を招き、花壇(コミュニティガーデン)のコンセプト決めを行う「学習会」や具体的にどんな花壇にするかのワークショップなどを実施、秋に本格的な花壇づくりと懇談会を行いました。全体を通じて、いぶき福祉会、コープぎふ、地域の方々や子どもなどの参加があり、ガーデンを中心として、施設の利用者と地域住民の交流がすすみました。



条件に合う活動は
ぜひ応募してほしいのだ!



応募いただくときの注意点

「既に生協と協同した活動を行うことが確定していること」が応募の必須条件です。
「協同」についてご不明な場合は、日本生協連 地域・コミュニティ担当 (03-5778-8135) までご相談ください。

※協同する生協をお探しの場合、生協との調整に時間がかかる場合や、地域の事情により生協をご紹介できない場合もございます。

テーマ

2 命を守り、その人らしい生き方ができるようにする

- 団体名：一般社団法人 やまなし空と風-Discovery Of Life-
- 協同した団体：生活協同組合ユーコープやまなし県本部／一般社団法人国際未来学校／医療法人社団家族の森
- 活動名：ほくとProof of Lifeプロジェクト(人それぞれの生きる証をみつける活動)

一般社団法人やまなし空と風-Discovery Of Life-は、高齢化が進む山梨県北杜市で、地域住民を対象に毎月1回の「健康よろずカフェ」を開催しています。県民性・地域性を熟知している地元生協だからこそそのアドバイスを、プログラムに活かしながら活動をすすめました。また、毎回障がいがある子どもたちを招き、カフェの手伝いをしてもらいました。子どもたちに対してのソーシャルスキルトレーニング、参加者にとっては障がいに対する誤解・偏見の解消が進みました。企画の手伝いをしてくれた学生団体、講師の医療関係者などとの議論も進み、新しい活動に発展する動きもみられました。



テーマ

3 女性と子どもが生き生きする



- 団体名：生活協同組合コープ自然派奈良
- 協同した団体：農民運動奈良県連絡会／橿原の学校給食を考える会／奈良市の給食のおはなし
- 活動名：きゅうしょくカンガループロジェクト(給食を考えるプロジェクト)

コープ自然派奈良の「きゅうしょくカンガループロジェクト」では、奈良県の農業振興と食育を、「給食」を核に解決していくことを目的に、農家、消費者、子どもたちなど様々な方が交流を行う様々なイベントを実施しています。「カレーライスを一から作る」プロジェクトでは、種から米・野菜・スパイスを育て、それを使ってカレーを作り、食べるまで、親子で体験する機会をつくりました。消費者が、農家の手伝いを実施し相互交流が進んだ「田んぼの作業員」プロジェクトや、給食関係者への取材を行い、学生と協同して給食献立を考え、調理・試食を行う交流イベントも実施しました。結果的に農家、行政職員、給食関係者、料理人、学生など、様々な人の協力を得られ、それぞれの視点を生かした幅広い活動へとつながりました。

